

F ^{ふた} ^{ことば} ^{くみ} ^い ^{かた} ^{じよし}
二つの言葉を組にする言い方・助詞

N2の文法形式には、同じ言葉、対になる言葉を2回重ねて言う表現があります。同じ言葉を重ねるのは、主に例を挙げるものです。また、特別な使い方の助詞も整理しましょう。

(*はここで初めて学習する文法形式)

文法形式	例	か課
～やら～やら	四角いものや丸いものやいろいろな形の皿がある。	10
～というか～というか	このクラスはうるさいというかにぎやかというか……。	10
～にしても～にしても ～にしろ～にしろ ～にせよ～にせよ	野菜にしても魚にしても、材料は新鮮なほうがいい。 入院するにしろ通院するにしろ、お金がかかるだろう。 与党にせよ野党にせよ、リーダーは責任が重い。	10
～だの～だの	⇒うんざりというニュアンスで例を挙げる。【話し言葉】 ①弟の部屋は、紙くずだの空きかんだのでいっぱい。 ②隣のうちの人は、ごみの出し方が悪いだの夜の洗濯はだめだの、文句ばかり言う。 名・普通形(ナ形) 名・名 + だの	*
～か～ないかのうちに	夜が明けたか明けないかのうちに家を出た。	1
～(よ)うか～まいか	旅行に行こうか行くまいか迷っている。	24

助詞	文法形式	例	か課
とは	～とは	留学とは外国で勉強することだ。	13
ぐらい・くらい	～ぐらい・～くらい	わからない言葉ぐらい調べてきなさい。	21
など・なんか・なんて	～など・～なんか・～なんて	医者になんかならなければよかった。	21
まで	～まで・～までして	この山小屋には電子レンジまでである。 借金までして車を買うんですか。	21
として	～として～ない	この寒さには1日として我慢できない。	21
さえ	～さえ	のどが痛くておかゆさえ食べられない。 お金さえあれば、この困難を乗り越えられる。	21
のみ	～のみ	⇒限定を表す。【硬い言い方】 ①ここから先は、関係者のみ入場可とする。 ②土日のみのアルバイトを探している。 名 + のみ	*



練習1 □ から最も適当な言い方を選び、()の中の言葉を適当な形にして、□の上
 上に書きなさい。

～か～ないかのうちに ～(よ)うか～まいか ～やら～やら
 ～というか～というか ～にしても～にしても ～だの～だの

- この作家の文章は _____、とにかく深刻であることは確かだ。
(重い・暗い)
- 弟は毎朝 _____ と言って、なかなか起きようとしな
(頭が痛い・おなかが痛い)
- 引越したばかりで、_____ 買わなければならない
ものがいろいろある。
(カーテン・机)
- _____、映画を見るのは楽しい。
(映画館で見る・DVDで見る)
- _____、メールの返事が来た。(5分たつ・たたない)
- 少し高そうな店だったので、_____ しばらく中の様子を
のぞきながら考えていた。
(入る・入らない)

練習2 □ から適当なものを選び、□の上
 (一つの言葉を1回だけ使います。)

とは ぐらい など のみ まで さえ として

- 交通の便 _____ よければ、この町はもっと観光客が増えると思うのですが……。
- 【注意書き】こちらの商品のご注文は、お一人様1点 _____ とさせていただきます。
- 大雨が降ると聞いて長靴 _____ 履いていったが、午後は晴れた。
- 小学校に上がる前に、自分の名前 _____ は読み書きできたほうがいい。
- わたしはうそ _____ 言っていない。全部本当のことだ。
- 一生の仕事 _____ どういうことかをよく考えて、会社を辞めた。
- このボタンは手作りなので、全く同じものは一つ _____ ない。